

第2回身延町上下水道事業審議会 会議録

■ 会議の名称：第2回身延町上下水道事業審議会

■ 開催日時：令和8年8月20日（木）午後1時25分～午後2時16分

■ 開催場所：身延町役場 本庁舎2階 第1会議室

■ 出席委員：山下利彦委員、遠藤一彦委員、深山光信委員、市川司委員

佐野鈴江委員、深沢允江委員、内藤政次委員、伊藤愛子委員

小倉是勇委員、望月政美委員、中村京子委員、笠井茂委員

広島法明委員、赤池義明委員、遠藤一夫委員 15名

■ 欠席委員：0名

■ 次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

（1）前回の振り返りについて

（2）給水原価について

（3）答申書について

4 その他

5 閉会

■ 審議内容

【会長】 次第の3「議事」に入ります。（1）前回の振り返りについて、（2）給水原価について、（3）答申書について、事務局より説明をお願いいたします。

《事務局説明》

【会長】 説明が終わりました。委員の皆様からご意見、ご質問承りたいと思います。

【委員】 身延町は、人口減少率が県内で一番高く、人口減少に伴い料金収入が減少していく中で、前回資料の水道資料3、33ページ及び下水道資料4、29ページの一般会計繰入金について、再度説明をお願いします。

【事務局】 現在、水道事業全体で約4億円の一般会計からの繰入金がありますが、料

金改定を行い収入が増えた分、繰入金が減少いたします。先ほども説明させていただきましたが、一般会計繰入金が限界にきています。今回、料金改定しないと繰入額が増えていき、料金改定する事で繰入額が減っていきます。

【委員】水道料金体系については、改定の必要はないということか。

【事務局】水道料金体系については、資料 1、3 ページの（4）及び前回資料の資料 3、21 ページになります。水道料金の基本水量や超過料金の仕組みについては、改定することなく、今回は、料金の単価を改定していくことになります。

【委員】資料 1、6 ページの 3 付帯意見及び要望事項の（1）文中で、能率的な事業運営という要約された表現について、町民への説明は、具体的な内容で周知をしていただきたい。

【事務局】現在でも業務の効率化や経費の縮減に努めていますが、経営努力を改定後もしていくという要約した表現で記載させていただきました。

【委員】料金が上がることに對する町民への説明については、もう少し詳細な内容の記載があってもいいのではないか。

【事務局】答申書として、詳細な内容の記載は複雑で難しいですが、町民への詳細な説明については、ホームページや広報の利用を検討しています。

【委員】具体的な経営の継続ということで、耐震化という説明を入れた方がいいかなと考えています。能登地震や洪水の後の状況を見ても必要性、大切さというものがあると思います。身延町でも東海地震で富士山の噴火も言われているわけですから、ぜひ料金値上げの中に耐震化を考えていかなければならないという事を入れた方がいいと思います。

【事務局】答申案では 2 ページに、老朽化施設の更新や自然災害に備えた施設の改修と記載しています。先ほどの委員への回答と同じになりますが、ホームページや広報を利用して細かい内容についての説明を検討しています。

【会長】委員の質問については、ホームページや広報で細かい説明はしていくという事でよろしいでしょうか。

《各委員 異議なし》

【委員】質問ではなく意見ですが、私も上下水道の事業を担当として進めてきたわけですが、やはりこういう時期が来てしまったかなというようなことです。ということは水道料金 下水道料金はどうしても生活基盤に密着してるという事でございますから、高齢化率が高くなるところで料金が上がるという事は私自身厳しいものがございます。ただこの事業を進めていくことによって、私たちの生活基盤が安定していくという事を住民の皆様方に説明していただいて、住民の皆様方のご理解を上げられるように私は本当に進めてほしいなと、こんな風な私の簡単な言葉ですが意見をいたします。

す。

【委員】ホームページや広報を利用して住民へ説明を行うということだが、事前に周知する内容を提示していただき、委員の皆様の意見集約を行った方が良いではないか。

【委員】先ほど委員の質問に関連して、資料 1、2 ページの中段に示しているという、地震の事ですが、確かに上下水道という記載がありますが、“しかしながら”から見ると特に水道事業としか受け取れませんので、下水道のことも加味するよう明示した方が良いと思うが。

【会長】今補足という事で委員から意見がございました。

【委員】先ほど委員から話がありましたが、私の方から 2 点要望があります。料金を上げる前に町として、削減、効率化した内容と、人口が減って町自体の存続が危ぶまれているなかで、人口が減っても町民にとって必要な安心できるサービス、災害対応の出来るような内容を水道、下水道事業としては料金改定の時にはぜひ強調して示してもらいたいと思います。

【会長】いただいた意見を集約しまして、事務局と私と副会長で責任もって答申書をまとめさせていただきますがよろしいでしょうか。

《各委員 異議なし》

以上